

～ごあいさつ～



2100年には世界人口は100億人に達すると予想されており、資源枯渇・環境汚染・食糧問題といった環境制約・環境リスクが世界規模で強まっていくことは明らかです。こうした問題を抜本的に解決するためには、産業・経済が発展すればするほど環境・社会が悪化するという反比例の関係ではなく、産業・経済と環境・社会の発展を比例させる良関係を構築しなければなりません。つまり未来の子どもたちのためにも持続可能な社会を

創るということです。今回の経営研究集会では『持続可能な地域経済を中小企業で創ろう!』をスローガンに掲げました。基調講演ではアマタホールディングスの熊野英介会長に「四方よし」中小企業がつくる新しい価値創造と未来の地域づくりをテーマに講演いただきます。近江商人の三方よし(売り手よし・買い手よし・世間よし)に未来良しを加えた、四方よし。これからの私たち中小企業に、求められる未来を見据えた地域づくりの原動力になる機会にしたいと考えます。皆さん、一緒に学びましょう。

実行委員長 蔭山 大輔

＜支部長・ブロック長メッセージ＞



この経営研究集会には、他府県から先進的な取り組みをされている経営者が来られ報告されます。是非参加してください。
大津支部長
村田 健二



経営研究集会は同友会において最大のイベント。多くの成功事例から学び、応用し、実践する。共に成長の機会を手に入れませんか?
湖南支部長
北野 裕子



全県の集いです。みんなが知り合い、学びあい、交流しあえる絶好の機会です。一緒に研究集会に行きましょう!
甲賀支部長
川崎 博治



皆さん、待ちに待った研究集会の季節になりました。年に一度のビッグイベント、ともに考えともに学びましょう。
東近江支部長
嶋田 裕士



経営者＝学び続けることが大事だと思います。多くの経営者が集まる経営研究会に参加して共に学びあいましょう!
北近江支部長
青柳 孝幸



滋賀同友会最大のイベントへGO! 年に一度のこの機会に経営者も社員も視て聴いて、いっしょに学び合いましょ!
高島ブロック長
川原林 弘康

滋賀県中小企業家同友会第27回経営研究集会 参加申込書

参加者名	会社名	役職	参加希望分科会No.		懇親会
			第1希望	第2希望	
					参加/不参加
					参加/不参加
					参加/不参加

チケット販売する役員にお渡しいただくか、同友会FAX077(561)5334までお送り下さい。
e.doyuシステムでもお申し込みをいただけます⇒ <https://shiga-doyu.jp/s.event>
参加お申し込みと共に、チケットを購入していただけます。チケットは連絡してお届けいたします。
※11月8日(火)以降のキャンセルは受け付けられませんのでご容赦ください。

DOYU shiga [同友しが]

発行所●滋賀県中小企業家同友会
発行責任者/代表理事 蔭山孝夫
編集責任者/宮川卓也 廣瀬元行

2016.September VOL.421 2016年9月発行
〒525-0059 草津市野路8丁目13-1 KE草津ビル1階
TEL.077-561-5333 FAX.077-561-5334
E-mail: jimu@shiga.doyu.jp URL <http://www.shiga.doyu.jp>

DOYU shiga

滋賀県中小企業家同友会報誌 [同友しが]
VOL.421 2016年9月発行

第27回
滋賀県経営研究集会

持続可能な地域経済を 中小企業で創ろう!

＜開催意義＞

- 1) 良い会社・良い経営者・良い経営環境をめざす、同友会らしい学びの場
- 2) 会員経営者の経営姿勢の確立と、時代の変化に対応した理念と戦略を固める場
- 3) 全県会員の学びと交流の場

とき 2016年11月15日(火)

13:00～20:30 (受付12:30～)

ところ クサツエストピアホテル

<http://www.estopia.jp/>
滋賀県草津市西大路町4-32 TEL.077-566-3333
(JR草津駅西口より徒歩5分ほど)



主催 滋賀県中小企業家同友会

参加費 10,000円 (講演会・分科会・懇親会含む)
※講演会と分科会までの参加は4,000円

定員 200名
(同友会会員を優先に、お申し込み順といたします)

プログラム

- 13:00～ ◇開会・セレモニー
- 13:20～ ◇基調講演
『「四方よし」中小企業がつくる新しい価値創造と未来の地域づくり』
熊野 英介氏 アマタホールディングス(株) 代表取締役会長兼社長
- 15:10～ ◇第1分科会
『「エネルギーシフトで新しい価値と仕事づくり」
～中小企業だからこそできる、地域内エネルギービジネス～
加藤 昌之氏 (株)加藤設計 代表取締役社長
- ◇第2分科会
『「社員のやる気は経営者への信頼感と共に」
～ITの活用と社員の経営参画で永続する企業をめざす～
鐘川 喜久治氏 (株)鐘川製作所 代表取締役社長
- ◇第3分科会
『「新事業・新商品のすすめ」
～価格競争から価値創造へ、顧客視点の紙づくり～
伊藤 俊一郎氏 イトマン(株) 代表取締役
- 19:00～ ◇懇親会
20:30～ ◇閉会

講演内容は中面



熊野 英介 氏

講師

熊野 英介 氏

アマタホールディングス株式会社 代表取締役会長兼社長

熊野氏は、水俣病の実態を目の当たりにし、人類は経済の発展という名のもとに環境を犠牲にし、弱きものの尊厳を踏みにじってきたという事実から、金属資源商社としてスタートした会社を資源リサイクル、製造メーカーへと事業を展開。循環資源製造所を各地に展開し、資源リサイクルネットワークを構築され、上場企業へと発展されました。しかし、水俣病や東日本大震災の現実から、地域の人々自身が手がけ、資源や食料の地産地消型の経済循環を生み出さなければ未来はないと、南三陸やパラオ等での地域内資源循環モデルの構築を推進されています。

現在だけでなく未来を見据えた「未来デザイン企業」をめざすアマタグループは、持続可能な地域経済を企業家自ら取り組むことの重要性和地域の可能性を教えてください。

「三方よし」からさらに加える「一方」は「未来よし」。未来が良くなるための事業を行うこと、そして未来を生きる子どもたちの尊厳を守ること。それを形にする、提供するのがこれからの中小企業に求められる大きな役割であり、新しい価値創造と地域づくりにもつながります。

事業と社会の持続性に必要な「四方よし」を共に学びます。

PROFILE プロフィール

アマタホールディングス株式会社代表取締役会長兼社長。
公益財団法人信頼資本財団理事長。
一般社団法人ソーシャルビジネス・ネットワーク副代表理事。

「持続可能社会の実現」を掲げ、他社に先駆け再資源化事業を開始。その後、ソリューション事業や地域支援事業を手がけ、環境分野を牽引。
未来の子供たちの尊厳を守ることをミッションに掲げ、豊かな関係性が動力となる新たな社会の創出に向けて邁進中。

著書：『思考するカンパニー』（幻冬舎）、『自然産業の世紀』
[アマタ持続可能経済研究所共著]（創森社）。

会社名：
アマタホールディングス株式会社
資本金：4億7492万円
社員数：147名
事業概要：廃棄物の100%リサイクルを中心に、企業の環境リスク、環境コスト、環境負荷を同時に低減する環境戦略支援サービス
<http://www.amita-hd.co.jp>

第1部 基調講演

「四方よし」 中小企業がつくる新しい価値創造と 未来の地域づくり

第2部 分科会 (第2希望までを決めてお申込下さい)

第1分科会 担当：大津(高島ブロック)支部



加藤 昌之 氏
(株)加藤設計
代表取締役社長
(愛知同友会 理事・財務部長
中同協・広報委員長)

「エネルギーシフトで新しい価値と仕事づくり」

～中小企業だからこそできる、地域内エネルギービジネス～

エネルギーシフトとは、「再生可能エネルギーの地域内自給を高めるための取り組みをさします。今年7月の中同協総会で「中小企業家エネルギー宣言」が採択され、持続可能な経済社会をめざし、原子力・化石燃料に依存せずにエネルギー創出と活用をめざす方針が出されました。加藤氏は、ゼロエネルギーオフィス(エネルギー収支ゼロの建物)の設計から(一社)建築環境・省エネルギー機構のサステナブル建築賞を受賞するなど実績をあげられています。中小企業だからこそできるエネルギーシフトと加藤氏の実践から学びます。

プロフィール

会社名：株式会社加藤設計
設立：1985年
資本金：1,000万円
年商：1億6,500万円
社員数：12名
事業内容：建築設計監理(ビル一般、住宅・店舗・共同住宅・工場等の企画設計監理)
<http://www.katou-sekkei.co.jp>

第2分科会 担当：湖南・甲賀支部



鐘川 喜久治 氏
(株)鐘川製作所
代表取締役社長
(福岡同友会 理事
地球環境問題委員長)

「社員のやる気は経営者への信頼感と共に」

～ITの活用と社員の経営参画で永続する企業をめざす～

8年前社長就任から失敗に学ぶ経営を実践し、経営者と社員との信頼関係構築に取り組みます。その後社員の経営参加を進め、(1)社員による経営計画書の作成と発表会、(2)社員が無記名で行う社長の査定と結果の発表、(3)全社員参加による自社の決算書の勉強会、(4)社長の給与の開示と社員にて行う昇給・賞与の金額の決定などに取り組んでこられました。リーマンショックに際しても売上35%減ながら2カ年の経営方針を発表して社員の協力の元に雇用を守った結果、黒字決算ができて労使の信頼関係がより堅固になりました。以後、増収増益を重ねながら雇用も増やし、鐘川氏の実践から労使見解を自社にどう生かすのかを学びます。

プロフィール

会社名：株式会社鐘川製作所
設立：1914年
資本金：6,310万円
年商：15.6億円
社員数：79名
事業内容：
・総合精密板金(NCT加工、レーザー加工、切断・折曲加工)
・建築金物一式(幕板、笠木、巾木、見切り、手摺り等)
・建築金属工事・設計・製作
・水産関連機器・設計・製作
<http://www.kanegawa.co.jp/>

第3分科会 担当：東近江・北近江支部



伊藤 俊一郎 氏
イトマン(株)
代表取締役
(愛媛同友会
副代表理事)

「新事業・新商品のすすめ」

～価格競争から価値創造へ、顧客視点の紙づくり～

創業は1877年、2004年に34歳で社長に就任。以後、経営理念の策定、経営戦略の見直しなど価格競争からの脱却へと改革を進められます。

付加価値とは、作り手側が決めるものではなく、お客様が決めるものです。顧客によって、何を価値と考えるかは全く違います。イトマン(株)では、量販店で安く販売される紙製品の製造から脱却し、顧客を絞り込んだ商品開発へとシフトしました。デフレの申し子と言われる紙製品、循環型リサイクル商品・新商品開発、市場創造と価値の転換を戦略として取り組まれた実践に学びます。

プロフィール

会社名：イトマン株式会社
設立：1877年
資本金：2億4,000万円
年商：38億円
社員数：150名
事業内容：古紙パルプを主原料とする衛生用紙(家庭紙)の製造販売
<http://www.e-itoman.jp>